



ダムニュース

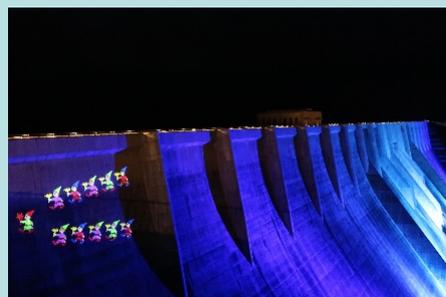
[法人名] 一般財団法人ダム技術センター
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F
[電話] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[ウェブサイト] <http://www.jdec.or.jp/>
[電子メール] damnews@jdec.or.jp

この号の内容

- 1 懐かしい西目屋村の風景をもう一度
～津軽ダム秋のライトアップ～
- 2 内ヶ谷ダム ～岐阜県～
アマゴの産卵床の造成
- 3 Dam news 投稿記事募集
- 4 「ダム技術11月」の目次
- 5 図書販売



ウインクする津軽ダムイメージキャラクター“ペッカー君”
(令和3年10月22日撮影)



▲絵画の合間には、葉っぱをもった11人の子供たちの動画を投影



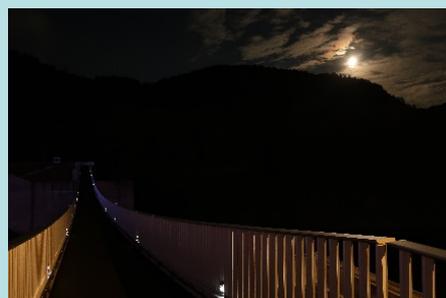
▲白神が故郷橋パークにて撮影。レインボーカーが夜空に映えます



▲白神が故郷橋にて撮影。新色の通称“JAPANカラー”。来訪者の皆さんから大変好評でした



▲夏のライトアップから登場したイエロー。派手さはないものの存在感があります



▲期間中、白神が故郷橋にLEDライトを設置しました。優しい灯りで足もとを照らし、歩き易くしました



懐かしい西目屋村の風景をもう一度 ～津軽ダム 秋のライトアップ～

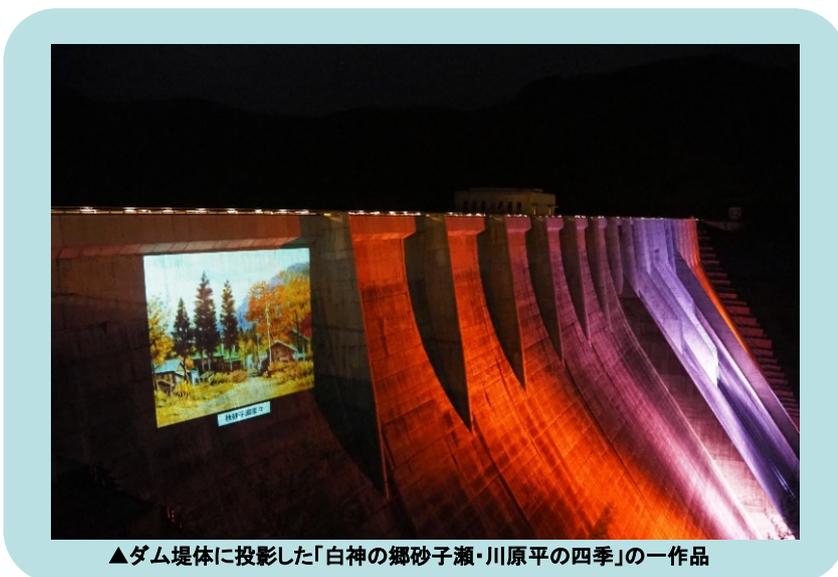
青森県中津軽郡西目屋村に位置する“津軽ダム”では、秋の紅葉時期に合わせて令和3年10月22日（金）から31日（日）までの10日間、18時から21時まで“秋のライトアップ”を実施しました。

今回は、5分毎に13パターンの色合いにカラーチェンジをするライトアップとともに、「白神の郷 砂子瀬・川原平の四季」と題して、津軽圏域の画家4人が、津軽ダム完成前の西目屋村の風景を描いた絵画計18枚をメインに、プロジェクターを利用してダム堤体に投影し、懐かしい風景を楽しんでいただきました。

“砂子瀬・川原平”というのは、津軽ダム建設に伴い水没することになり179世帯が移転をした地域です。今回の企画は、この水源地域が歩んだ歴史を下流域に住む皆様に改めてお知らせし、理解してもらうきっかけの一つとなりました。実際に「ライトアップを見て初めて砂子瀬・川原平地区のことを知りました」と、事務所代表メールあてに感想が届くなど反響がありました。

観光資源としての活用の他に、下流域に住む人たちが上流域について学び理解する場としてのダムの活用も引き続き続けていきたいと思えます。

（国土交通省東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所）



▲ダム堤体に投影した「白神の郷砂子瀬・川原平の四季」の一作品

津軽白神湖
Tsugaru-Shirakami-Lake



津軽ダムイメージキャラクター
ベッカー君

内ヶ谷ダム アマゴの産卵床の造成 ～ 岐阜県 ～



▲ダム見学の様子



▲産卵床の説明を聞く生徒たち



▲産卵床造成時の様子



▲アマゴの放流の様子

岐阜県が木曾川水系長良川支川亀尾島川（郡上市大和町内ヶ谷地内）に建設を進めている内ヶ谷ダムは、長良川の洪水調節と亀尾島川の流水の正常な機能の維持、河川維持用水を活用した従属発電（共同事業者：中部電力株式会社）を目的としています。

内ヶ谷ダム建設現場内では、希少猛禽類であるクマタカなどが確認されており、ダム事業の実施に伴う環境への影響を調査するため、長年にわたり環境調査を実施するなど環境保全に関する取り組みを実施しております。

今年度は、ダム完成後も地域協働で、水棲生物の保全活動を継続的に実施していくための仕組みづくりを目的として、アマゴの産卵床の造成を令和3年10月15日に、地元の大和西小学校の4年生から6年生の生徒25人と行いました。

生徒たちは、産卵床を造成する前にダム建設の様子を見学し、ダムの大きさに大変驚いていました。

ダム見学後、ダムの下流に移動し、産卵床の造成を行いました。岐阜県水産研究所の講師の方から産卵床についての説明を受け、生徒は、講師の指導のもと礫で産卵床を造成しました。この礫は原石山から採取した骨材を使用しています。

地元の郡上漁業協同組合から提供いただいたアマゴの放流も生徒により行われ、名古屋女子大学特任教授の駒田氏から、亀尾島川に棲む魚についての説明をいただき、関係者の協力のもと、産卵床造成を終えました。

令和3年10月22日に、造成した産卵床でアマゴが産卵していることを確認しました。12月の月上旬に産卵状況について大和西小学校に報告に行く予定です。

今後も、ダム完成後を見据えた環境保全活動を実施していきます。

（岐阜県 長良川上流河川開発工事事務所）



▲小学生が造成した産卵床で産卵するアマゴ

Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、**積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。**

1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター『ダムニュース』 編集事務局

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 企画部 ダムニュース担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] damnews@jdec.or.jp

NOVEMBER

2021

ダム技術

No. 422

目 次

巻 頭 言 ダム建設現場を活用したインフラツーリズムの取組

国土交通省近畿地方整備局長 東 川 直 正

講 座 台形CSGダム 設計・構造の整理（その7）—堤体材料③—

台形CSGダム 設計・構造整理検討会

技 術 研 究 ダム貯水池管理における沈木の課題と沈木発生要因に関する一検討

国立研究開発法人土木研究所水工研究グループ水理チーム研究員 高 田 翔 也

主任研究員 宮 川 仁

上席研究員 石 神 孝 之

現 場 報 告 平取ダムにおける工事中の魚類保全対策について

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部沙流川ダム建設事業所 小田島 大 祐

森吉山ダム完成から10年を迎えて～地域活性への貢献～

国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所技術情報管理官 細 川 朋

文献紹介

ダムニュース

編集事務局から

図 書 販 売

1. ダム技術
 - ・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
令和3 年4 月号（No. 415）～令和4 年3 月号（No. 426） 1,260円（税別・送料込）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
 - ・平成17 年 6 月発行 A4 判 88,200 円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩
 - ・平成17 年 12 月発行 A4 判 4,500 円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理
 - ・平成18 年 5 月発行 B5 判 2,000 円（税込・送料別）
5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料
 - ・平成19 年 9 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）
6. 地質現象とダム
 - ・平成20 年 6 月発行 A4 判 7,000 円（税込・送料別）
7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
 - ・平成22 年 8 月発行 A5 判 6,000 円（税込・送料別）
8. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料
 - ・平成24 年 2 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）
9. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
 - ・平成24 年 6 月発行 A4 判 3,000 円（税込・送料別）
10. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法
 - ・平成25年 5 月発行 A4 判 5,000 円（税込・送料別）
11. ダム技術Q&A—総集編—改訂版 I
 - ・平成27年3月発行 A4判 3,000円（税別・送料別）
12. ダムの地質調査—ボーリング・調査坑・トレンチ—
 - ・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
13. RCD工法施工技術資料
 - ・平成31年3月発行 A4判 5,000円（税込・送料別）
14. 岩盤画像の取得と活用
 - ・令和3年3月発行 A4判 7,000円（税込・送料別）
15. ダム工事積算の解説（令和3年度版）
 - ・令和3年8月発行 A4判 2,900円（税込・送料別）
16. ダム用PSアンカー設計施工マニュアル
 - ・令和3年9月発行 A4判 3,300円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

〔法人名〕 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

〔郵便番号〕 〒110-0008

〔住所〕 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

〔担当者〕 図書販売担当

〔電話〕 03-5815-4161

〔FAX〕 03-5815-4162

〔電子メール〕 books@jdec.or.jp

図書注文書

一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX (03-5815-4162)

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数
1		
2		
3		

*公/私どちらかに○をお付け下さい。 公→宛名(会社名) 私→宛名(申込者名)となります。		公・(宛名(会社名)) 私・(宛名(申込者名))	
申込者 (ご氏名)	ふりがな		
会社名			
事務所名・ 部署名			
所在地	(〒 -)		
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

- ◆ご注文の商品は、3日～10日程度でお手元に届きます。
- ◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。(到着日は、商品と1日程度誤差あり)
- ◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAXもしくは通知状)にてご通知下さい。
- ◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- ◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mail等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp